

平成29年度 東京都立板橋高等学校 学校経営報告

東京都立板橋高等学校長
川口 元三

数値目標の達成状況

29年度の数値目標		29年度結果						過去のデータ(28年度)				
1	規範意識の向上 ・遅刻者6.0%以下	1学年 2.4% 達成 2学年 7.6% 未達成 3学年 4.5% 達成						1学年 4.3% 2学年 4.7% 3学年 10.0%				
	●学校評価アンケート (マナーやルール)の遵守(地域の否定的評価)20%未満	9.7% 達成						13.9%				
2	学習習慣の確立 －自主学习時間の伸長－ ●自主学习時間 1日1時間以上 70%		1学期(6月)	1学期(7月)	2学期(10月)	2学期(12月)	学期(3月)		1学期(7月)	2学期(10月)	2学期(12月)	学期(3月)
		1年	61.4%	63.0%	58.0%	62.0%	59.9%	1年	65.0%	61.2%	61.8%	62.0%
		2年	51.3%	58.6%	61.0%	61.5%	62.4%	2年	66.3%	56.0%	68.2%	68.8%
		3年	62.3%	65.4%	56.2%	50.3%	—	3年	76.3%	60.0%	53.0%	—
いま一歩である。また、3学年は進路が決まると自主学习時間が減少してしまう。												
3	学力向上 ・学力スタンダード 学力調査得点 50%以上	第1回学力調査										
			国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科						
		1学年	国総42%	数I51%	英I76%	世史82%	現社73%	化基36%				
		2学年	現文51%	数II32%	英II27%	日B78%	生基34%	物基66%	地基38%			
		3学年	現文68%			日B66%	政経69%					
		第2回学力調査 国、数、英(都の問題) 地歴・公民、理 2学期末考査										
		国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科							
	1学年	国総67%	数I27%	英I48%	世史75%	現社72%	化基39%					
	2学年	現文56%	数II33%	英II18%	日B66%	生基36%	物基67%	地基81%				
	3学年				日B35%	政経52%						
第1回、第2回とも得点50%以上の科目が国語、地歴公民に多い。												
体力向上 ・全学年前年度を上回る	平成29年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査											
		握力	比較し	長距離	反復	散歩	歩行	50m走	立幅	小ジャンプ	体脂肪	
		kg	回	cm	回	秒	回	秒	cm	m	点	
	1学年	男	37.8	31.1	49.5	56.8	400.0	—	7.3	222.2	22.7	50.5
		女	26.3	25.2	46.7	47.6	313.6	—	8.8	172.4	13.8	50.0
	2学年	男	40.3	31.2	52.6	58.0	385.0	—	7.3	224.1	23.2	52.9
		女	26.8	26.0	47.4	47.5	310.4	—	8.9	174.5	14.4	51.9
	3学年	男	43.8	32.4	51.5	57.7	379.8	—	7.1	229.9	24.3	55.4
		女	26.8	24.7	49.0	46.5	312.8	—	8.9	174.8	15.0	51.8
	前年度との比較 48項目中31項目で前年度を上回った。総合合計点においては、2学年、3学年の男女とも前年度を上回り、体力向上の取り組み成果が表れている。都平均との比較 総合合計点においては、全学年男女とも、ひとつの目標である東京都の平均値を上回るという目標を達成した。また、その結果として、東京都教育委員会の平成29年度『子供の体力向上推進優秀校表彰』を受けることができた。その背景には、28年度と29年度の2年間、体力気力鍛錬道場の指定を受け、保健体育の授業において「板高メソッド」としてランニング、腹筋、背筋、腕立て伏せ、横跳びジャンプなどの強化トレーニングを行ってきたことがあると考える。											

	●授業評価(肯定的評価)75%	1 学年 71.4% 2 学年 75.5% 達成 3 学年 76.7% 達成	1 学年 83.1% 2 学年 73.3% 3 学年 76.6%																																								
	・長期休業日中の講習延べ300時間以上	夏期休業日 245 時間	286.5 時間 冬期休業日 15 時間																																								
	・土曜講習参加者延べ2000名以上	3035 名 達成	2,509 名																																								
	・本校図書館の貸出冊数3,000冊以上	4325 冊 達成	5,870 冊																																								
	・不読率 22.3%未滿	34.8%	都の調査なし																																								
	・英検、漢検の準2級以上合格者数30名以上	英検：不明(学校として実施せず) 漢検 10 名	英検 6 名、漢検 0																																								
	・ニュース時事能力検定実施	受検の募集をしたが、受検者なし。	3 級 9 名																																								
4	基礎的・汎用的能力の育成 ・自習室開室 180 日以上	1 学年 50 日(講義室 3) 2 学年 50 日(2 年 7 組教室) 3 学年 190 日(会議室) 達成	1 学年 40 日(講義室 3) 2 学年 190 日(講義室 3、会議室)																																								
	・語彙・読解力検定 1 学年 3 級合格 30%以上 2 学年 準 2 級合格 15%以上 3 級合格 35%以上	1 学年 3 級 113 名/277 名 40.8% 達成 2 学年 準 2 級 44 名/104 名 42.3% 達成 3 級 146 名/438 名 33.3% 達成	1 学年 3 級 110 名/271 名 40.6% 2 学年 準 2 級 27 名/68 名 39.7% 3 級 45 名/187 名 24.1%																																								
	・拡大学年会 各学期 1 回	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6/15</td> <td>11/13</td> <td>2/6</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>6/14</td> <td>11/17</td> <td>2/5</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>6/13</td> <td>11/27</td> <td>—</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table>		1 学期	2 学期	3 学期	開催回数	1 学年	6/15	11/13	2/6	3 回	2 学年	6/14	11/17	2/5	3 回	3 学年	6/13	11/27	—	2 回	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> <th>継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6/14</td> <td>11/10</td> <td>2/7</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>6/15</td> <td>11/11</td> <td>2/6</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>6/16</td> <td>11/8</td> <td>—</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table>		1 学期	2 学期	3 学期	継続	1 学年	6/14	11/10	2/7	3 回	2 学年	6/15	11/11	2/6	3 回	3 学年	6/16	11/8	—	2 回
	1 学期	2 学期	3 学期	開催回数																																							
1 学年	6/15	11/13	2/6	3 回																																							
2 学年	6/14	11/17	2/5	3 回																																							
3 学年	6/13	11/27	—	2 回																																							
	1 学期	2 学期	3 学期	継続																																							
1 学年	6/14	11/10	2/7	3 回																																							
2 学年	6/15	11/11	2/6	3 回																																							
3 学年	6/16	11/8	—	2 回																																							
		29 年度年間行事計画に位置付けて実施 達成																																									
5	自治意識、帰属意識の向上 ●1 学年生徒部活動加入率 85%	4 月 81.0% 9 月、1 月調査実施せず	4 月 81.6% 9 月、1 月調査実施せず																																								
	・部活動定着率 70%以上	—	—																																								
	・体罰ゼロ	不適切な指導あり	体罰ゼロ																																								
	・中部フェスタ(10/16 鷺宮高校)	教員 1 名、生徒案内 2 名参加、連携先大学院生 1 名参加 達成	企画・運営への教員、生徒参画 教員 2 名、生徒販売 2 名、展示(写真部、漫画研究部)																																								
6	キャリア教育 ・同窓会と連携した講演会 1 回	なし	3/23 開催																																								
	・自立支援教育プログラム の活用 1、2 学年 6 回	1 学年 4 回、2 学年 2 回 達成	1 学年 5 回、2 学年 1 回																																								
7	生徒一人一人に	44.6% 達成	40%																																								

	応じた適切な進路指導 ●4年制大学進学率40%		
	●日東駒専以上 現役合格10名	11名 達成	13名
	・国公立大学1名合格	0名	0名
	・就職内定率100%	100% 達成	100%
	・進路未決定者10%未満	8.43% 達成	12.6% (3/18)
8	安全教育の推進(災害安全) ・上級救命講習 1学年生徒全員受講	「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校」として12/20実施 1学年生徒全員受講 達成 「合同防災キャンプ2017」(8/23～8/25)2学年生徒2名参加、「防災士」の資格取得。	「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校」として12/16実施 1学年生徒全員受講 「合同防災キャンプ2016」(8/22～8/24)2、3学年生徒各2名参加、「防災士」の資格取得。
9	人材育成 校内研修(講師招聘)1回実施	・生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告 講師 教育実践研究オフィスF 鍋島史一氏 第1回10/4、第2回3/5 ・「進路検討会と出願指導について」講師株式会社バネッコポレション小宮早紀子氏11/27 ・「69期生3年間の模試の分析・反省、30年度の模試計画について」講師株式会社バネッコポレション小宮早紀子氏12/20 ・「日東駒専の合格を伸ばす進路指導について」講師都立小岩高校進路部主任金子正勝氏1/15 ・「3年0学期をうまく切り抜くために」講師株式会社バネッコポレション柳田一輝氏3/20 達成	・生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告 講師 教育実践研究オフィスF 鍋島史一氏 第1回10/12、第2回2/13 ・教育・入試改革の情報整理と今後の方向性について 講師 株式会社バネッコポレション学校カンパニー 柳田一輝氏 12/14
	研究授業・研究協議 各教科1回実施	・実施 達成	・実施
	大学入試問題研究及び生徒対象講習	・実施 達成	・実施
	授業見学 授業見合おう旬間(6月、11月) 年間4時間以上	4時間以上 14.6% 1～3時間 26.8% 他に、若手教員育成研修研究授業の参観があった。	4時間以上 25.0% 1～3時間 27.3% 他に、若手教員育成研修研究授業、外国語(英語)科教員等海外派遣研修受講者の授業等の参観があった。
	「この授業見よう」	2回実施 達成	2回実施
10	教育公務員 ・サービス事故防止研修4回 ・サービス事故への継続	サービス事故防止研修4回 達成 サービス事故への継続 未達成	サービス事故防止研修4回 サービス事故への継続

11	募集・広報活動の充実 ・塾訪問 100 塾以上	185 塾 達成	143 塾(32 名/46 名)
	・中進対 1.0 倍以上	1.32 倍 (男子 1.25 倍、女子 1.41 倍) 達成	1.50 倍
	●入学者選抜 1 次 最終応募倍率 1.35	1.40 倍 (男子 1.39 倍、女子 1.42 倍) 達成	1.53
	・入試対策講座 5 教科 2 回	5 教科 2 回 達成 受講者 130 名	5 教科 2 回 受講者 175 名
	・文化祭(一般公開)来場者数 1,300 名以上	1621 名 達成	1775 名
12	・ホームページ更新 200 回以上	288 回 達成	245 回

1 今年度の取組と自己評価 自己評価基準: **[A]** 十分に達成できた **[B]** 概ね達成できた **[C]** あまり達成できなかった

(1)教育活動への取組 (2)重点目標への取組	自己評価
1 組織的・学校経営の推進 [B]	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議 戦略検討 ・主幹会議 主幹教諭 5 名の連携・協力、学校改革牽引。 ・主幹教諭・主任教諭によるマネジメント ・教職員の情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議(39 回) 学期ごとの振り返り等、PDC A サイクルに基づくマネジメントシステム、戦略検討。 ・主幹会議(19 回) 連携・協力。学力向上推進校としての取組を牽引。当面する組織的課題の検討・解決。身だしなみ指導、校内規定等。 ・教職員の情報の共有化 打合せ、臨時の会議など。 ・中部学校経営支援センター学力向上推進校、平成 29 年度体力気力鍛錬道場(部活動推進指定校)、東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校。
2 規範意識の向上 [B]	
<ul style="list-style-type: none"> ・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、身だしなみ指導の徹底を図る。 ・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。 ・朝、昼休みの正門等における指導、授業時巡回を全教員当番制で行う。 ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。 ・情報モラル教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒部及び学年で遅刻防止指導を行った。【数値目標 1】 生徒部と学年の連携が十分ではないところがあり、数値目標は達成できなかった。 ・挨拶 文化・スポーツ等特別推薦実施種目の部の生徒等はきちんとしているが、全体としては不十分。 ・セーフティ教室 (1 学年は薬物乱用防止) 1 学年 7/13、2 学年 7/14、3 学年 12/19 ・交通安全 自転車の傘さし走行禁止に係る指導、雨天時レインコート着用指導の徹底。生徒・保護者への説明を丁寧に行う。
3 学習習慣の確立ー自主学习時間の伸長ー [B]	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導 ・定期的な自主学习時間調査 ・生徒による授業評価の実施及び結果分析年 2 回 ・教育課程の評価・検証・改善 ・授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の自己管理(記録)指導 ・自主学习時間調査 教務部主導で定期考査ごとに実施・集計、結果を教室掲示。 ・【数値目標 2】 自主学习時間伸長、引き続き更なる伸長を図る。特に 3 学年、進路内定者の意識向上が課題。 ・「生徒による授業評価」学力向上推進校事業として、

	教育実践研究オフィスFの分析、改善提案、校内研修実施により充実・強化、授業改善につなげることができた。
4 学力向上、体力向上 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダード作成及び組織的・効果的な指導 ・教科会の充実を図る 【自主学習時間の伸長】 ・土曜講習の充実 ・読書活動の推進、言語活動の充実—書評合戦等 ・ICT機器等を活用した効果的な教科指導の工夫 ・英語教育の改善・充実—JET、ALTの活用— ・リビッパ・パ・リビッパ教育の推進 5つの資質の育成(全教科合計、年35単位時間) ・主権者教育の推進(地歴・公民科等) ・体力・運動能力の向上 体力テスト実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の共通問題化 国語(現代文)実施。 ・教科会 教科マネジメント充実。 ・教科主任会 月1回定例開催は実現できなかった。 ・学力スタンダード学力調査 【数値目標3】得点50%以上達成は第1回10科目/16科目、第2回8科目/15科目。 ・土曜講習 18回(進学13回、考査対策5回)開催。 ・読書指導に係る状況 司書、司書教諭連携による指導。 ・教員相互の授業見学、ICT機器の活用の拡大、充実。今年度72.5%の教員が活用(昨年度57.1%)。 ・JETの活用 国際交流講演会等実施。ALTの活用 一定程度図った。 ・リ・パ教育 全教科で取り組むとともに、講演会1/31「グローバルマナーとおもてなしの心」(講師Global Manner Springs代表江上いずみ氏)、英語科授業2/15「英語でボランティアガイド」(講師NPO法人TOKYO FREE GUIDE川本佐奈恵氏、桐生隆久氏)などを実施した。 ・主権者教育 3月末までに地歴・公民科の教員により実施した。 ・体力テスト 【数値目標3】
5 系統的なキャリア教育の推進 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報の共有化 ・一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。 ・上級学校説明会等への学年積極的参加、情報収集・活用。 ・ガイダンス、個別相談の充実。 ・同窓会との連携 講演会 社会で活躍する/してきた卒業生を講師として招聘。 ・「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標4】 拡大学年會開催等により、生徒情報の共有化進展。 ・模試の結果分析会、3学年センター試験受験クラス生徒の目線合せを実施。 ・上級学校の説明会 進路指導部担当が一覧作成、周知。3学年担任が参加して情報を収集し、学年で活用。 ・ガイダンス、個別相談 充実。三者面談 3学年担任7名全員が夏季休業日等に三者面談を行うとともに、きめ細やかな進路指導を行った。 ・同窓会との連携 講演会 実施せず【数値目標6】 ・「社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」1学年「右脳・左脳ワークショップ」(6/14)、「勤労観・職業観ワークショップ」(10/4)、「社会人アドバイザー交流会」(11/8)、「ライフプランニング授業」(1/7)、「トキョー学生図鑑のオープンキャンパス」(11/29)、「社会人基礎力ワークショップ」(1/14)。
6 基礎的・汎用的能力の育成 【A】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・語彙・読解力検定(1、2学年) ・週末課題(1、2学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・汎用的能力の育成 学年、担任を中心に取り組んだ。週末課題の提出状況は概ね良好。 ・語彙・読解力検定 【数値目標4】2学年生徒の意識、取組は二極化し、1年次に引き続き3級を受検するに当たって、モチベーションが上がらない生徒もいた。 ・志望理由書作成指導、小論文指導(3学年) 国語科、

<ul style="list-style-type: none"> ・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導 (3 学年) 	<p>3 学年担任等が懇切丁寧に個別対応・指導を行った。2 学年も 3 学期に志望理由書作成指導を 2 回行った。</p>
<p>7 生徒一人一人に応じた適切な進路指導 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望の実現 ・進路情報の提供 ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・学校外の学修ー保育園実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標 7】 国公立大学合格を除いて達成。 ・理系数学 放課後講習、土曜講習等により徹底指導。 ・「進路の手引き」発行。「進路通信」1～10 号発行。 ・学習合宿 平成 29 年 7 月 24 日～26 日 1 学年 45 名 2 学年 41 名、引率教員 9 名、計 95 名 (昨年度 80 名)。 ・学校外の学修 保育園実習 5 日間 (平成 29 年 7 月 23 日～27 日)、板橋区立大山西町保育園 3 学年 1 名、板橋区立みなみ保育園 3 学年 2 名実施。「子どもの発達と保育」(1 単位) 3 学年 3 名認定。
<p>8 自治意識、帰属意識の向上 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興 「平成 29 年度体力気力鍛錬道場(部活動推進指定校)」としての取組 ・部活動推進と体力向上 ・体罰禁止・根絶 ・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等) ・地域行事への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標 5】 ・部活動 主な成果 女子バスケットボール部：関東大会予選都ベスト 3 2、関東新人大大会都予選ベスト 3 2。陸上競技部：関東選抜都選抜 4 位 (男子 400m)、都新人戦 5 位 (女子円盤投)、関東選抜新人大大会 14 位 (女子円盤投)。野球部：夏季東東京大会 4 回戦進出、毎週月曜日の地域清掃、板橋警察署と連携した交通安全運動。バドミントン部：インターハイ予選東ブロックベスト 1 6。硬式テニス部：東京都大会新人戦男子 4 回戦進出。夏季ダンロップジュニア大会男子ブロック・コンストレーション 1 位。水泳部：板橋区民体育大会自由形 5 0 m 一般男子第 3 位。バタフライ 5 0 m 一般女子第 3 位。吹奏楽部都アンサンブルコンテスト管楽三重奏銅賞、特別養護老人ホーム「千川の杜」で演奏活動。課題：加入率の更なる向上。
<p>9 健康・安全、社会貢献 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策 ・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成 ・不登校・中途退学の防止 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間 3 回以上実施する。教育相談体制の強化 ・防災教育の推進 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進 ・PTA との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関する委員会 6 回開催。 ・食物アレルギー緊急時対応に係る研修 (5/17) 「エピペン」の使い方確認。 ・保健庶務部 「ゴミの分別状況は不十分である。」 ・いじめ対策委員会 いじめアンケート：1 年生・2 年生 4 回、3 年生 3 回実施。いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組み、成果を上げた。 ・生徒部研修会(10/16)：部活動指導について ・養護教諭と担任の連携による教育相談体制。 ・4 月にスクールカウンセラー作成「学校生活アンケート」を 1 年生に実施。 ・9 月に東京都教育委員会作成「高校生の意識調査」を全生徒に実施。 ・防災教育 【数値目標 8】「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校」1 学年。宿泊防災訓練(一泊二日)1 学年、板橋警察署、板橋消防署及び小茂根出張所、東京都水道局と連携。 ・地域清掃 3 回 (PTA との連携)。硬式野球部が早朝清掃 (近隣住民から評価) 及び交通安全運動協力 (9/25、板橋警察署と連携)。 ・板高シンポジウム第 1 回「Web が広がるスクールラ

	<p>イフ(パソコン・スマホ)」(6/26)生徒19名教員9名保護者8名計36名、第2回「化粧について」(10/27)生徒23名教員7名保護者10名計40名、第3回「校則について」(2/8)生徒17名教員8名保護者8名計33名。</p>
<p>10 計画的、組織的な人材育成 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 ・「平成29年度教職大学院連携協力校」としての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT 教科、分掌、学年 意図的・計画的・組織的に実施。授業研究 研究協議の充実。 ・校内研修 【数値目標9】「生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告」は授業改善に係る意識向上につながった。 ・教員相互の授業参観 「授業見合おう旬間」の活用 【数値目標9】教員の意識、取組に隔たりがある。課題 授業研究の充実。 ・早稲田大学教職大学院との連携 国語、世界史各1名受入。大学院生1名が中部フェスタに生徒2名とともに参加しボランティアで案内を担当。
<p>11 教員の使命感・倫理観、服務規律の遵守。 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律の徹底 ・校内規定の整備 ・情報資産の管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標10】引き続き研修を行い、自覚を促す。 ・服務規律徹底、個人情報紛失防止の徹底。「学力検査採点の誤り」ゼロの継続。 ・クリーンデスクの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進 一部達成できていない。 ・教務部、生徒部 「校内規定集」見直し、整備。課題 内容の点検、充実。
<p>12 募集・広報活動の充実 【A】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色のより一層の明確化 ・入学者選抜(文化・スポーツ等特別推薦を含む)の評価・検証及び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新)。 ・家庭・地域等の本校に対する要望の把握、対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標11】全て達成。 ・学校の特色の明確化を図り、積極的に発信するとともに推薦に基づく選抜の作文、集団討論のテーマを検討、決定する際にも意識した。 ・「学校案内」刷新、ホームページの適時適切な更新等好評である。さらなる充実を図る。
<p>13 教育環境の改善・充実 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標12】課題 予算、「標準」との兼ね合い。 ・校内の改築委員会が精力的に打合せ、活動し、情報を伝え、課題を明確にして意見集約を行ってきた。
<p>14 予算、施設・設備、接遇等 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な予算執行と更なる経営参画 ・教育環境の更なる整備、充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律経営推進予算の一般需用費センター執行割合は57.6%となり60%は下回ったものの前年度より上昇した。 ・施設・設備の定期点検、教育環境の整備を行った。 ・接遇、入学者選抜業務等 適切に行った。
<p>15 地域連携 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学校づくり ・地域の公共機関との連携による生徒の健全育成 ・日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開放 テニスコート11日、延べ45団体延べ312人利用。 ・公開講座「日本古代史を学ぶー古代王権と神社ー」(平成29年10月21日～平成30年2月3日、5回計15時間37名受講) ・教科「人間と社会」等、地域との連携強化。

2 次年度以降の課題と対応策

次年度以降の課題	対応策
規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る／守らせる 「遅刻ゼロ」生徒部と学年の連携による指導強化、挨拶の充実・指導の強化。 ・服装・身だしなみ指導 全教員による指導の徹底。制服改造厳禁の徹底(スカート丈を替えさせない)、頭髪・化粧に関する指導等 ・SNS板橋高校ルールの徹底。
学習時間の伸長	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな手帳の活用によるタイムマネジメント。 ・全学年 朝学習、放課後学習。 ・教務部 定期考査ごとの自主学習時間調査、迅速な結果提示。学年、教科による指導。 ・全教員による継続的な取組 学習させる、課題は必ず提出させる等。 ・教科会(月2回)、(教務部主導)教科主任会定例開催。
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダードを活用した教科マネジメントの徹底ー到達目標の明確化と達成状況の分析ー。 ・主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」)の視点からの学習過程の改善。 ・英語教育の改善・充実ーJET、ALTの活用等ー。 ・土曜講習、長期休業日の講習等の充実。
系統的なキャリア教育の推進 生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部 学年、教科との連携強化。 ・学年 三者面談の実施、保護者との連携強化。 ・不登校・中途退学防止 相談体制の強化。 ・生徒一人一人の情報(学習・生活・進路希望等)の共有化 拡大学年會、成績処理ファイルの活用等。 ・基礎的・汎用的能力の育成 読書活動の推進、言語活動の充実、小論文、志望理由書指導等。 ・看護体験、保育園実習等の継続。
部活動のより一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の充実・振興。 ・部活動加入率向上、 ・体力の更なる向上。
健康・安全、社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化 美化委員による点検・評価、取組のよいクラスを顕彰。 ・交通安全指導 特に自転車の乗り方指導の徹底。 ・防災教育の継続・充実 防災活動支援隊の活動の充実。被災地視察、被災地との交流等。 ・地域との連携の充実・強化 例)千川の杜、保育園等との連携
組織的な学校運営の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議 分掌・学年を超え、学校改革の戦略を検討する。 ・主幹会議 方策の検討、企画調整会議に提案。主幹教諭6名の連携・協力体制構築、学校改革の牽引。
募集・広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の充実(きめ細やかな指導) ・全校体制の強化(夏季休業日中の学校案内、北区進路フェア等外部説明会参加、塾・中学校訪問)。 ・入試対策講座、部活動体験、上級学校訪問対応等。
教育環境の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎移転を見据え、改築委員会及び移転委員会において、転居の準備を行う。
計画的、組織的な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 授業見合おう旬間、この授業を見よう等。